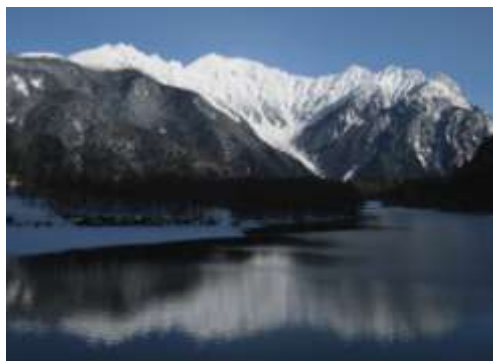


2月13日早朝 AM6:30、参加者10名が松本に集合。2台の車に乗り合わせ、国道158号線を進む。沢渡を經由して、AM8:30 安房トンネル手前、安房峠への分岐に到着する。ここに車を置き、AM9:00 全員雪山装備に身支度して、新釜トンネルへ向う。暗闇のトンネルの中、長さ1350mの坂道を30分程で登り抜けると、突然白銀の世界が広がり、正面に雪化粧した焼岳がそそり立つ。

早速スノーシューを駆って雪道を廻ると、青空高く真白な穂高連峰が荘厳な姿を現し、黒々と漂う大正池面にその白い影を映している。池淵を巡り歩き、鬱蒼とした林の雪原を抜け、田代湿原の神秘の世界に浸る。



大正池に映る穂高岳連峰



スノーシューを駆って進む



大正池畔から望む焼岳



冬の霞沢岳と六百山



河童橋でバンザイ



冬の河童橋と白銀の穂高岳

田代橋からは、梓川右岸に行く。梓川対岸に、青空を背景に雪を被った霞沢岳、六百山を望む。PM12:00 河童橋に到着。雪煙舞う穂高岳稜線を高く望み、橋袂付近で昼食を摂る。夢にまで見た至福のひとつ。昼食後、氷結したバス道をスノーシューの爪を効かせて歩き、帝国ホテル前を通過し、PM3:00 釜トンネル出口へ辿り着く。この日、中ノ湯温泉へ宿泊、暖かい温泉に浸かり、豪勢な食事と岩魚の骨酒に酔う。



「さあ、出発だ！」



白樺林を、あざみ池へ向う



一の瀬園地から望む乗鞍岳

翌14日、AM8:00 中ノ湯温泉を出発。AM9:00 過ぎ、乗鞍高原いがやスキー場からスノーシューを履き、雪原の一の瀬園地へ向う。氷結する“あざみ池”で遊び、白樺林の雪原を歩き、白銀の乗鞍岳を望む。同じルートを引き返し、PM12:30 いがやスキー場へ帰還する。番所そば処「御池」で昼食を摂り、PM1:30 車に乗り合わせ松本へ向う。PM2:30 松本県合同庁舎駐車場に到着し、最終解散とした。

輝く白銀の雪原をスノーシューで歩く楽しみを味わった講習だった。